

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2026年8月
第247号

もくじ

巻頭言	2
各部局県士会活動案内・報告	3
お知らせ	9
編集後記	11



千葉県理学療法士会：以下 県士会

URL：<http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス：t.kouketsu@asunarogroup.jp

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.248 10月号（10月1日頃掲載）メ切 8月31日
No.249 12月号（12月1日頃掲載）メ切 10月31日
No.250 2月号（2月1日頃掲載）メ切 12月31日

No.251 4月号（4月1日頃掲載）メ切 2月28日
No.252 6月号（6月1日頃掲載）メ切 4月30日
No.253 8月号（8月1日頃掲載）メ切 6月30日

❖ 巻頭言 ❖

📌 新年度の歩みを支える三つの節目

一般社団法人千葉県理学療法士会

事務局長 大住 崇之

4月から6月にかけて、千葉県理学療法士会では、新年度の活動を象徴する三つの大きな出来事がありました。新入会歓迎セミナーの開催、第10回代議員総会の開催、そして公益社団法人日本理学療法士協会第55回定時総会における協会賞受賞です。いずれも、県士会の現在地を確認し、これからの活動を考えるうえで重要な節目となりました。

まず、新入会歓迎セミナーは、新たに県士会へ加わった会員の皆さまに、県士会の活動を知っていただく貴重な機会となりました。理学療法士としての専門性を高めることはもちろん、同じ地域で活動する会員同士がつながり、学び合い、支え合う関係を築くことは、県士会活動の大切な基盤です。新入会員の皆さまが、今後さまざまな活動に参加し、それぞれの立場から県士会を支えてくださることを期待しています。

次に、第10回代議員総会が開催されました。総会の詳細については、今後、正式な議事録等に基づいて共有されるものですが、総会は県士会の運営における重要な意思決定の場です。代議員、役員、事務局をはじめ、多くの関係者の準備と協力によって、組織としての活動が支えられています。県士会は一部の役員だけで成り立つものではなく、会員一人ひとりの理解と参加によって運営されていることを、改めて確認する機会となりました。

さらに、日本理学療法士協会第55回定時総会における協会賞授賞式では、千葉県から高杉潤さん、内山覚さん、小塚和豊さんの3名が受賞されました。県内会員のこれまでの活動が評価されたことは、千葉県理学療法士会にとって大変喜ばしい出来事です。先達の歩みを称えるとともに、その姿勢を次の世代へつないでいくことは、私たちに求められる大切な役割です。

新たな会員を迎え、組織運営の節目を確認し、先達の功績を称える。この4月から6月の出来事は、千葉県理学療法士会が多く会員の参加と支えによって成り立っていることを示しています。今後も会員の皆さまとともに、地域に根ざした理学療法の発展に取り組んでまいります。



左：日本理学療法士協会 斉藤会長 右：高杉 潤さん



左：日本理学療法士協会 斉藤会長 右：内山 覚さん

❖各部局県士会活動案内・報告❖

🏢事務局 報告

●令和8年度 新入会歓迎セミナー報告

ニュース編集部 加藤木 文 英

令和8年5月17日、千葉県教育会館にて「2026年度千葉県理学療法士会 新入会歓迎セミナー」が開催されました。

当日は多くの新人理学療法士の皆さまにご参加いただき、150名もの方々から事前申し込みをいただくなど、会場は熱気に包まれていました。

午前中は、薄会長からの温かいエールでスタート。続いて、今後の理学療法士人生の基盤となる「生涯学習」についての概要説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



午後のシンポジウムでは、「先輩PTに聞いてみよう！～新人が知りたい、仕事の慣れ方・学び方～」をテーマに、2年目の理学療法士とそのプリセプター（教育担当の先輩理学療法士）のペアによる発表が行われました。ここでは、1年目の過ごし方の具体的なアドバイスが出され、多くの学びがあったと思います。



セミナーの締めくくりには、グループワーク「新人PTの仕事習得ロードマップ作成」が行われました。作成したロードマップをお互いに見せ合いながら、活発な意見交換が行われ、新しい視点やアイデアが次々と生まれていました。



「10年後の自分の姿」を人生のライフイベントと重ね合わせることで、より現実的で具体的な将来像を描けた参加者も多かったようです。

千葉県理学療法士会の未来を担う皆さんの、力強く前向きな一歩に立ち会うことができ、私にとっても非常に貴重で充実した時間となりました。



4名の新人理学療法士の方に、新入会歓迎セミナーに参加しての感想をいただきましたのでご紹介します！

西川整形外科 理学療法士 加瀬 愛賢さん

先日は千葉県理学療法士会の新入会歓迎セミナーに参加させていただき、誠にありがとうございました。はじめに、薄会長のお話を拝聴し、理学療法士として大切にすべき姿勢や考え方について学ぶことができました。これから理学療法士として働いていく上で、自身も日々成長していきたいと改めて感じました。また、印旛地域での活動についてのお話では、理学療法士が病院内だけでなく、地域においても幅広く活躍していることを知り、大変勉強になりました。さらに、2年目の先生方からは、1年目で感じやすい悩みや不安について、実際の経験を交えながらお話を伺うことができました。働き始めてからの具体的なイメージを持つことができ、大変参考になりました。10年後の自分について考える時間では、自分がどのような理学療法士を目指したいのかを改めて見つめ直す貴重な機会となりました。

今回のセミナーを通して、多くの学びと刺激をいただき、今後の目標について深く考えることができました。今後も学ぶ姿勢を大切にしながら、理学療法士として成長していきたいと思えます。

佐倉厚生園病院 理学療法士 栗原 拓海さん

千葉県理学療法士協会の新入会歓迎セミナーに参加し、理学療法士として働いていく上で必要な知識や姿勢について多くの学びを得ることができました。特に印象に残ったのは、技術や知識だけでなく、患者さんとの信頼関係や多職種との連携が重要であるという話です。学生の頃は評価や治療技術に意識が向きがちでしたが、実際の臨床ではコミュニケーション能力や社

会人としての態度も大切であることを改めて感じました。

また、新人理学療法士として悩みや不安を抱えることは自然なことであり、一人で抱え込まず周囲に相談することの大切さについても学ぶことができました。同じ立場の参加者の話を聞くことで、不安な気持ちになるのは自分だけではないと感じ、安心感にもつながりました。

さらに、理学療法士は常に学び続ける職業であり、根拠に基づいた医療を実践するためには継続した自己研鑽が必要であると強く感じました。今回のセミナーで得た学びを今後の臨床や学習に活かし、患者さんに信頼される理学療法士を目指して努力していきたいです。

印西総合病院 理学療法士 三須 ころろさん

今回の新入会歓迎セミナーでは、多くの学びを得るとともに、今後について考える良い機会となりました。日本理学療法士協会についての説明では、入会することで得られる学びやメリットについて知ることができました。また、登録理学療法士になるまでの流れや研修内容についても理解を深めることができました。

先輩理学療法士の方々からは、1年目のうちに行っておくべきことや勉強会についてなど、実際の経験に基づいた貴重なお話を伺うことができました。知識や技術不足を感じる中で、日々の業務だけでなく、自ら学ぶ機会を増やすことの大切さを実感しました。また、さまざまな視点から学ぶことの重要性についても知ることができ、今後の学習に活かしていきたいと感じました。

さらに、ライフプラン作成では、同世代の理学療法士の方々と交流しながら、今後の目標や学習について考える貴重な機会となりました。また、ブロックごとの活動内容について知ること、地域での取り組みへの理解も深まりました。今回のセミナーを通して、理学療法士としてどのように成長していきたいのかを改めて考えることができました。

今後は積極的に研修や勉強会へ参加し、知識・技術を身につけながら、患者さん一人ひとりと向き合い、臨床に活かしていきたいと思えます。

成田赤十字病院 理学療法士 和田 悠佑さん

セミナーでは、日本理学療法士協会へ入会するメリットや、今後学ぶべき内容、研修会や学会に関する

案内などについて説明を受けました。就職したばかりで、どのように勉強を進めていけばよいのか悩んでいた時期であったため、今後の学習の方向性を考える上で非常に参考になりました。また、2年目の先輩方からお話を伺い、実際の臨床現場での経験や新人時代の取り組みについて知ることができました。さらに、同年代の新人理学療法士との交流を通して、それぞれが抱えている悩みや不安を共有することができました。同じブロックの先輩理学療法士の先生方にも相談に乗っていただき、多くの助言をいただけたことは大変貴重な経験となりました。

今回参加するまでは、協会に入会する意義について十分に理解できていませんでしたが、説明を聞くことでそのメリットを知ることができ、入会を前向きに考えるきっかけとなりました。また、自身の将来像について考える機会にもなり、目標を実現するために今後どのような行動を取るべきかを考えるよい契機となりました。今回の学びを今後の臨床や自己研鑽に活かしていきたいと思います。

生涯学習局 報告

●生涯学習局より

生涯学習局 局長 竹内 真太
生涯学習局担当 理事 藤井 顕
生涯学習局担当 理事 室井 大佑

今年度は多くの登録理学療法士の方が更新を迎えます。更新には「ポイントの取得」と「更新時研修の受講」が必要です。計画的に履修を進めてください。迷ったら千葉県理学療法士会HPのAI相談窓口やお問い合わせフォームをご利用ください。

【前期研修部より】

前期研修部 部長 高原 剛

5月に実施しました新入会歓迎セミナーのシンポジウムは、多くの先生方にご参加いただき、大変充実した内容となりました。この場をお借りして感謝申し上げます。来年度も引き続き実施していく予定ですので、ご参加の程よろしく願いいたします。

今後は、9月に学習制度の相談窓口、来年3月に生涯学習制度説明会を実施予定です。県士会HPの前期研修部のページに詳細を記載いたしますのでご確認ください。

ださい。前期研修部では、今年度も引き続き前期研修修了に向けて会員の皆様のサポート体制、広報の方法など改善策を検討し、皆様の履修促進につながるよう尽力して参ります。

【後期研修部より】

後期研修部 部長 池田 一樹

今年度は、6月より千葉県理学療法士会主催の症例検討会（後期研修カリキュラム E：領域別事例）およびCテーマ研修会を開催しております。

2027年2月まで、症例検討会またはCテーマ研修会を毎月開催予定です。

次回の症例検討会は、8月25日（火）に神経系領域をテーマとして開催予定です（申込締切は8月11日）。後期研修を履修中の会員の皆様におかれましては、ぜひ積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。また、症例検討会の発表者は随時募集しております。発表を希望される方は、千葉県理学療法士会ホームページ内の理学療法士向けサイトより、「生涯学習」→「後期研修」に掲載している案内をご確認のうえ、症例発表のエントリーをお願いいたします。

【企画研修部より】

企画研修部 部長 廣居 康博

令和8年度の士会主催更新研修会が開催されています。9月6日に『肩関節の痛みと機能障害に挑む～運動療法と徒手療法のコツ～』が対面開催。11月21日に『脳卒中患者のADL障害に影響する高次機能障害の評価と臨床応用―“動作ができない理由”をどう見抜くか。』、『患者さんの「注意」を操作して、滑らかな姿勢制御を引き出す方法―明日から使えるワンポイントアドバイス―』がWeb開催されます。詳細は、千葉県理学療法士会ホームページ内「生涯学習」→「士会主催更新研修会」をご確認ください。また、公式SNSでも随時情報発信しております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



公益事業局 報告

●千葉県障害者スポーツ大会コンディショニングサポート活動報告

障がい者スポーツ支援部 部長 福田 大輝
(いんざい整形外科クリニック)

令和8年度千葉県障害者スポーツ大会の水泳・陸上の各会場にてコンディショニングルームを設置・運営したため、活動の様子をご報告いたします。

5月17日（日）に水泳競技（千葉県国際総合水泳場）、5月24日（日）に陸上競技（千葉県総合スポーツセンター陸上競技場）が開催され、延23名の県士会員を派遣し選手対応等実施しました。



活動内容はコンディショニングルームにて選手に対するストレッチやコンディショニング、セルフケア指導の他に、障がい相談や家族やコーチに対しての指導なども行いました。競技場内などを巡回して競技中の事故などにも備えております。

コンディショニングルームの利用者数は水泳競技・陸上競技合わせて延53名と昨年よりも多くの選手にご利用いただきました。



コンディショニングルームとは別に、障害区分判定の活動も行いました。大会前に障害区分判定を行った

選手に対して、実際の競技場面の観察や身体評価を行い、判定した障害区分が妥当なものかを判断します。

障がいには部位や程度によって運動能力に差が出るため、公平に競えるように同程度の障がいのある選手同士で種目などを分ける目的で行うのが障害区分判定です。



千葉県障害者スポーツ大会は9月以降も個人競技や団体競技が続き、県士会としては11月にサッカー・バスケットボールのサポートを予定しております。

10月には青森県で全国障害者スポーツ大会も開催予定です。全国障害者スポーツ大会には毎年県士会員を派遣しており、今年も陸上競技に2名、ボッチャ競技に1名派遣予定となっており、その様子もご報告できたらと思います。



パラスポーツに興味のある方、サポート活動に興味のある方は、サポートスタッフ養成セミナーを受講する必要があります。毎年2～3月頃に開催していますので、県士会HPや協会アプリなどチェックして、ぜひ受講していただき我々と一緒に活動をしていきましょう。皆さんの参加をお待ちしております。



一般社団法人千葉県理学療法士会

令和8年度 第3回理事会 議事録

日 時：令和8年6月12日（金）19時00分～21時40分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉薄 直宏、松田 徹、小林好信
小川明宏、高橋 聡、大住崇之
桑江 豊、江戸優裕、金子達哉
山中 玄、高杉 潤、森下勝行
深田 亮、竹内真太、室井大佑
藤井 顕、川村雄輔、小串健志
福家晶子、仲 貴子、井上靖悟

〈欠 席〉なし

〈委 任 状〉なし

〈監 事〉田中康之、児玉美香、松川基宏

〈事 務 局〉奥村龍之

〈書 記〉江戸優裕

1. 協議

1) 令和8年度県士会表彰式について

令和8年度県士会表彰式を代議員総会に併せて開催するにあたり、理事の役割分担が協議された。

当日は、永年勤続者表彰、感謝状表彰、特別功労賞、功労賞の表彰が行われることが報告された。

2) 千葉県高校野球大会のサポートスタッフ活動に対する保険について

高校野球大会にサポートスタッフを派遣するにあたり、県士会の保険を適用することが協議された。次年度以降については高野連に対して保険加入等も検討していただくよう計画的に調整する方針となった。

3) 千葉県健康・体力づくり指導者研修会の資料の公開について

令和6・7年度に健康増進支援部で作成した研修会資料について、千葉県庁健康づくり支援課より一般公開の要望があったことが報告され、対応が協議された。過去の資料は公開せず、今年度用に資料を刷新して公益事業局で確認してから再検討する方針となった。

2. 審議

4) 管理者ネットワーク推進委員会 2026年度研修会

管理者育成とネットワーク形成の両立を目的とする全3回の研修会の開催にあたり、計画を具体化したと

ころ、若干の予算不足が見込まれることが報告された。研修会内容の意義を考慮し、不足分を予備費から充当することが賛成多数で承認された。

5) ボッチャ大会派遣依頼

第28回日本ボッチャ選手権大会ブロック予選会および第6回ボッチャオープンチャンピオンシップブロック予選会（令和8年7月24日～26日・於 千葉ポートアリーナ）の開催にあたり、日本ボッチャ協会より日本理学療法士協会経由で理学療法士3～4名の派遣依頼があったことが報告された。

各日、障がい者スポーツ支援部員1名と公募による人員を派遣し、部員には公益事業局への報告と県士会ニュースへの投稿を求めることから会議費を支給することが賛成多数で承認された。

6) 障がい者区分判定研修会派遣について

千葉県障がい者スポーツ協会より令和8年度障害区分判定研修会（令和8年8月1日・2日）に実務者の派遣依頼があったことが報告された。例年、障害区分判定には県士会から人員を派遣しており、令和9年度から障害区分の規定が大きく改定されることを考慮すると本研修会への参加の必要性は高いことから、障がい者スポーツ支援部員1名を派遣することが賛成多数で承認された。それに伴って活動費を支給するとともに、講習会終了後に部員への情報共有と公益事業局への報告および県士会会員への活動報告として県士会ニュースへの投稿を求めることが賛成多数で承認された。

7) 千葉県糖尿病対策推進会議への入会・参画について

糖尿病対策推進会議は医師会を事務局として、看護師会、薬剤師会、栄養士会、臨床検査技師会などの医療専門職団体が正会員として参画し、地域の糖尿病対策を多職種で推進する協議体である。

これまで当県士会は未加入であったが、理学療法との関連性が深いことや、研修会講師の派遣依頼が継続的に寄せられる等、理学療法士の専門性を発信する機会にもなっている状況を鑑み、今後は正会員として参画することが賛成多数で承認された。

8) 令和8年度入会者向け登録理学療法士・前期研修オンライン研修会（追加開催）について

登録理学療法士制度の前期研修では、eラーニングの受講開始が9月であることから入会後に期間が空く新入会者が多く、円滑な受講につながりにくい実情があると分析される。そこで、令和8年度入会者への支援を目的として、7月および8月にオンライン研修会

の開催が提案され、予算の組み替えにより開催することが賛成多数で承認された。

9) 千葉県理学療法学会の参加費について

学会大会への参加機会の拡大と若手理学療法士の参加促進を目的として、今後は参加費体系を以下のとおりとすることが賛成多数で承認された。なお、これに伴う減収は前回大会の還付金により補填できる見込みであることが報告された。

(事前参加登録) 県士会員：理学療法士免許取得後1～3年目は無料、4年目以上は3,000円
他士会員：6,000円、非会員・休会者：10,000円

(当日参加登録) 県士会員：理学療法士免許取得後1～3年目は1,000円、4年目以上は4,000円

他士会員：6,000円、非会員・休会者：10,000円

※千葉県作業療法士会および千葉県言語聴覚士の会員は県士会員（理学療法士免許取得後4年目以上）と同額とする。

10) 新規入会者の承認について

令和8年4月の新入会者13名および5月の新入会者83名について、賛成多数で承認された。

3. 報告

11) 会長行動録・三役局長会報告

令和8年5月15日～6月12日までの会長行動録および三役局長会議の結果が報告された。

12) 事務局報告

事務局より以下9点が報告された。

- ①県士会ニュースの進捗：6月号をHPに掲載済、8月号の原稿を調整中。
- ②理学療法月間のコラボ企画関連：協会から広報物が到着し、各企画への配送の調整中。各企画にSNS等で広報できる写真を撮影していただくよう依頼済。
- ③令和7年度期末監査：令和8年6月1日に実施済。
- ④証憑チェック：経費精算処理の透明性担保のために証憑チェック体制を整備し、次回より運用。
- ⑤令和8年度第10回代議員総会：令和8年6月28日に千葉県立保健医療大学で開催。
- ⑥県士会公式WEB会議用背景：背景画像の作成と使用ルールを整備し、今後各部局に配布。
- ⑦広報フローの見直し：ブロック活動の広報を迅速に行えるよう手続きを見直し済。
- ⑧県士会HPの状況：HPを管理するサーバー業者に

サイバー攻撃の被害があり、一時HPの更新ができなかったが現在は復旧済。県士会員の個人情報等の流出はなし。

- ⑨新入会歓迎セミナー：令和8年5月17日開催済。過去最多の参加があり、満足度も概ね良好。

13) 公益事業局報告

公益事業局より以下2点が報告された。

- ①アウトカム検討事業経過：ワーキンググループメンバーを公募し、応募のあった健康増進支援部2名、在宅医療・介護支援部1名、介護予防推進部1名で開始。
- ②高野連面会：今後の高校野球大会への関わりを整備するため、薄会長、小川副会長、大住事務局長、公益理事2名で高野連との面会を調整中。

14) 印旛ブロック主催各施設責任者会議会場費における予算組み替え

例年開催している圏域内施設責任者会議について、これまではご厚意により無料で利用させていただいた会場施設は規定変更により有料となった。他会場を検討し、最安価であった西川整形外科を利用させていただくこととなり、予算組み替えにより会場費を捻出することが報告された。

15) 第32回千葉県理学療法学会大会報告

講師・シンポジストへの依頼、運営会社（マイスワーク）への依頼、会場（東都大学）の確保が正式に完了したことが報告された。学術システムや広報も順調に準備中であることが報告された。

16) 定款変更案修正について

今回の代議員総会で審議予定の定款変更案について、協会の定款変更に合わせて修正することが報告された。修正した定款変更案を今回の代議員総会で審議することが再確認された。

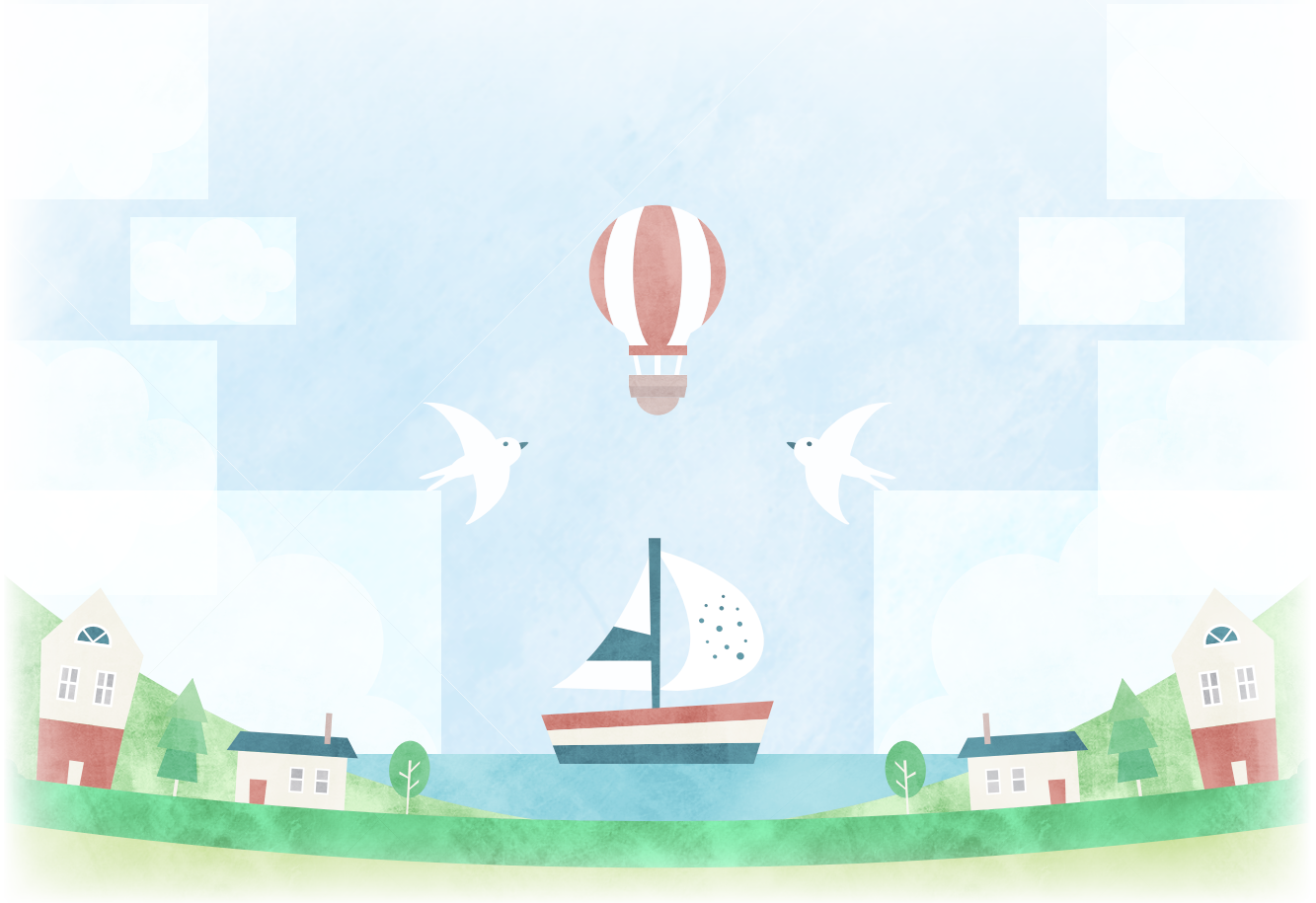
次回：令和8年度第4・5回 対面開催

日時：令和8年6月28日（日）

会場：千葉県立保健医療大学

以上





❖お知らせ❖

●千葉県理学療法士会 公式SNSについて

事務局担当 理事 金子 達哉

千葉県理学療法士会では、会員の皆さまへの情報発信をより迅速かつ身近なものとするため、各種公式SNSアカウントを開設しております。

研修会・学術関連情報、県士会活動の報告、各種お知らせなどを発信してまいります。

会員の皆さまにとって、必要な情報をより受け取りやすい環境づくりを目指してまいりますので、ぜひご登録をお願いいたします。



X

<https://x.com/cbpt1971>



Instagram

<https://www.instagram.com/chibapt1971/?hl=ja>



Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61579494421987>

◆第32回千葉県理学療法学術大会

●憧れる・憧れられる学会を目指して

準備委員長 深田 亮
(千葉大学医学部附属病院)



こんにちは。第32回千葉県理学療法学術大会準備委員長を務めます、深田亮です。

本学会大会の準備委員会は、平均年齢が30代と比較的若い世代を中心に構成されています。若い世代の多くは、臨床現場の最前線で日々患者さんと向き合い、悩み、考え、理学療法の価値を模索している世代でもあります。だからこそ、机上の学びにとどまらず、参加される皆さまに「参加してよかった」と感じていただき、翌日からそれぞれの臨床・教育・研究の現場で活かせるような学会大会にしたいと考え、準備を進めています。

本学会大会は、千葉県の理学療法士が一堂に会する貴重な機会です。学術研究にとどまらず、各ブロックでの取り組み、各委員会の活動、県士会としての事業など、千葉県の理学療法を支え、さらに発展させるためのアイデアを共有し、参加者の皆さまとともに議論できる場にしたいと考えています。その一環として、今回はポスター発表の場も設けます。また、議論の場が堅苦しいものにならず、参加者同士が役職や経験年数にとらわれず、横のつながりの中で気軽に意見交換できるよう、会場にはコーヒーも準備します。コーヒーを片手に、日々の臨床や地域での取り組み、千葉県の理学療法の未来について語り合える場になればと考えています。

千葉県理学療法学術大会では、若い先生方の発表が多いことも大きな特徴です。初めての学会発表の場としても、非常に良い機会になると思います。ぜひ、日々の臨床の中で感じている疑問や工夫、取り組みを発表していただきたいと思います。発表を通して得られる経験は、きっと今後の臨床や研究活動の大きな糧になるはずです。

また、中堅・ベテランの先生方にも、ぜひ積極的にご発表いただきたいと考えています。若い先生方にとって、先輩方の学会発表に向けた姿勢や取り組みは、言葉以上に大きな学びとなります。日々の臨床経験をどのように形にし、どのように発信していくのか。後輩に言葉で伝えることも大切ですが、何よりも、自らが学び続け、挑戦し、発表する姿を行動で示すことが、次世代の理学療法士への最も力強いメッセージになると思います。中堅・ベテランの先生方が背中ですす姿こそ、若い先生方にとって「自分もあのようになりたい」と思える大きな刺激になるはずです。

若手の先生方にとっては、先輩方の学び続ける姿や挑戦する姿に触れ、「自分もあのようになりたい」と憧れを抱ける学会に。そして、中堅・ベテランの先生方にとっては、これまで積み重ねてきた臨床経験を形にし、発信することで、後輩たちに憧れられる姿を示せる学会にしたいと考えています。第32回千葉県理学療法学術大会が、世代を超えて学び合い、刺激し合い、千葉県の理学療法の未来につながる場となるよう、準備委員一同、力を尽くしてまいります。

多くの先生方のご参加、そしてご発表を心よりお待ちしております。

●第32回千葉県理学療法学術大会 公式SNSアカウント情報



X



Instagram



Facebook

❖ 編集後記 ❖

●千葉県理学療法士会活動について

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

暑い日が続き、体力を奪われるような毎日ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部部長の纈纈です。

いつも県士会ニュースをご覧いただき、ありがとうございます。

さて、今号の巻頭では、大住事務局長より、今年度前半の千葉県理学療法士会を象徴する3つの大きなトピックスについて巻頭言をいただきました。

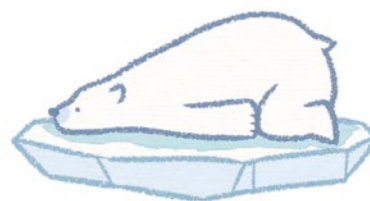
新入会歓迎セミナーでは、同じ地域で活躍する仲間との新たなつながりが生まれる場となりました。また、代議員総会では、県士会の今後の方向性について活発な議論が行われ、組織運営は多くの会員の皆さまの理解と参加によって支えられていることを改めて実感しました。さらに、日本理学療法士協会第55回定時総会では、千葉県から3名の会員が協会賞を受賞され

ました。長年にわたり理学療法の発展に尽力された先達の功績に敬意を表するとともに、その歩みを次の世代へつなぎ、さらに広げていくことの大切さを感じました。

今年度前半のこれら3つの出来事は、まさに薄会長が掲げる「つながる」「かかわる」「ひろがる」を改めて実感する機会となりました。

本誌が、千葉県の理学療法士の皆さまにとって県士会をより身近に感じ、活動へ参加するきっかけとなれば幸いです。

今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。



今回のニュース原稿の締め切りは
令和8年8月31日です！

千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ

<http://www.chiba-pt.org/>

- 求人広告のお申込・お問い合わせ

chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

- ニュース編集部

部長 纈 纈 琢 磨

t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 薄 直 宏

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室

Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 纈 琢 磨

医療法人社団 君津あすなろ会

小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1

Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684

Mail t.kouketsu@asunargroup.jp